

■子育て奮闘記の連載が前号で終わりましたが、かわら版記者の中で、「支援する側はどうなんだろう？」という意見が出ました。

そこで最後に支援事業を担当している方々にお話を聞いてみることに...

●子育て支援にもいろいろな窓口が...

子育て支援は、市や公民館の事業で、あるいはNPOがやっているものなどさまざまです。

市役所の中でも保育所(園)は社会福祉課、幼稚園関係は学校教育課と担当が分かれています。高齢者支援のように子育て支援も窓口が一本化されるとわかりやすいのにとわたり取材を通しての感想でした。

●学校教育課の支援チームがあった!

学校教育課には園児がスムーズに小学校へ上がるよう、幼稚園や保育園、小学校を訪問するチーム(医療関係者もいる)があるとのこと。

授業態度や行動に不安がある児童などへの具体的な指導法を先生方にアドバイスしているそうですが、保護者からの相談も受けているとのこと

子育て奮闘記 支援する側は?

●支援現場の声

行政から委託されて支援を直接提供しているちゅーりっぷ保育園の佐々木先生(写真)に聞いてみました。

「行事予定は、ふだんなかなか体験できないこと、季節感や自然に触れるなどを考慮し計画しています(各保育園で日時や内容がちがわないようにしている)。支援担当は二年目ですが、お母さん方の子どもに対する思いを共有できたり、参加者の輪が広がっていき、次を楽しみに待っていてくれるという声を聞くのが本当にうれしいです。帰る時のお子さんのキラキラした目はとても印象的です」

また園長先生は「地域に根ざした開かれた保育園として、ママさんたちの仲間作り、情報交換の場であらばと思っています。育児負担が和らぎ、楽しみながら豊かな心をほぐくんできたければ」と話してくれました。



矢板の元気印

「やいた語りべの会」は、矢板市立図書館の養成講座の受講者が平成十六年八月に結成し、その後入会した方を含め現在会員は十四人います。

■主な活動は、定例的には児童館、公民館行事での語り。そのほか行政区の敬老会や「ともな祭り」などのアトラクションへの出演などがあります。

また、毎月二回の図書館での定例学習会のほか、各地の「民話のつどい」に参加したり聞いたりして、各人の技量を高める研修も行っています。

郷土の魅力再発見 やいた語りべの会



今年九月に行われた「あんどん祭り」では、川崎小学校の児童と「塩谷朝業の寸劇」を行いました。

これは会として初めての試みで、学校の絶大な協力と児童の熱心な取り組みのおかげで無事に演ずることができました。当初は先生も児童も心配していましたが、練習を重ねることで少しずつ自信を持つようになり、この経験で子どもたちが大きく成長したと喜んでくれました。

■今年が結成五周年を迎え「語りべが書いた矢板の伝説再話集」を出版しました。これは会員たちがこれまで語ってきた矢板の昔話を収録したのですが、より多くの方々に矢板の伝説を知っていただき、郷土の魅力再発見していただきたいという思いから、市内の小中学校や図書館、そのほか公共施設などに寄贈したとのこと。

●来年一月十一日(日)には、栃木県民話の会連絡協議会主催による「第一回とちぎの民話フェスタin矢板」が、矢板市文化会館小ホールで開催されます。今回は県北から「やいた語りべの会」を含め10団体が出演します。お楽しみください。問い合わせ「やいた語りべの会」代表 金子 44-0154

公共の情報を視力障がいの方に届けます 音訳ボランティアさざ波



昭和六十二年、有志でたちあげた「さざ波」は、視力障がい者の方に矢板の情報を知っていただくため、広報の音訳を始めました。年に一度の視力障がい者の方との交流会が、ふれあい館で行われることでお邪魔し、代表の豊田文子さんにお話を伺いました。

●会の名はさざ波のように仲間の輪がひろがればという願いを込めてつけられたとのこと。現在、会員は十六人。利用されている障がい者の方が十二人。広報やいた(年二十四回)・社協だより(年二十四回)・社協だより(年二回)の音訳をグループごとに担当しています。

●以前は図書館の視聴覚室や自宅へ持ち帰って録音するなど苦労していましたが、四年前に矢板小旧児童館を利用したボランティアセンターができてからは機材も整い、そこで収録を行っています。録音したものはポストに入れて郵送し、利用者もポストに返還するという形になっており、郵送料はどちらもかかりません。

●以前は館外研修で浅草の寄席や富広美術館、益子や那珂川水遊園などにも行っていましたが、現在はふれあい館で大正琴やキーボードのコンサートなどを催しています。

今回は「ひな祭り」による大正琴の演奏で七曲が披露され、昔懐かしいメロディーが次々と流れると、皆さん思い思いに口ずさんでいました。参加者の一人は「わたしも昔お琴を習っていたことがあったので、楽しく聴かせてもらいました」と喜んでいました。

かわら版もぜひ読んでいただきたいものです。

●秋も深まり、美しい彩りになりました。毎日ですが、おいしいものを食べ、おいしいお酒を飲み、寒さにおうと思いを向かす。

(K)

(T)

(K)